さんにち NIE ワークシート

山梨日日新聞

年　　組　名前：

風林火山

山梨県内のほぼ全域に大雪警報が出た10日、県内は白に包まれた。甲府の積雪量は、午後9時の時点で8㌢。甲府で9㌢を記録した2017年1月8日に近い積雪となった▼山梨県民が「大雪」という言葉で思い浮かべるのは、14年2月、甲府で1㍍を超えた「未曽有の大雪」だろう。あの経験は、私たち県民の大雪に対する意識を変え、基準も変わった▼気象庁が大雪警報や注意報を出す基準は地域によって異なる。山梨県の警報の発表基準は、12時間に予想される降雪量が中北・峡東地域は盆地で15㌢、山地で30㌢、峡南地域、東部・富士五湖で30㌢の場合だ▼14年の豪雪などを受けて、16年11月に気象庁は山梨を含む関東・東海1都9県の大雪警報と注意報の発表基準を見直した。従来の24時間の予想降雪量から12時間の予報に変更するなどした。交通機関などに大きな影響が出たことから警報や注意報をより早く出して、行政や住民の早期対応を可能にする狙いがあった▼実際、行政や人々の備えの行動は変わっているのではないか。この2年、私たちの意識や行動を変えているものに、コロナ禍がある。ウイルスの変化や感染状況によって対応する基準も変わってきた▼備えとして、マスク、手洗い、「密」の回避と基本的な行動はかなり徹底されてきたと思うが、つらいのは出口がなかなか見えないことだ。こちらの〝雪解け〟は一体、いつになるのだろう。（竹）

（2022 年 2 月 11 日付 山梨日日新聞 1 面）

問1

山梨県民の災害に対する意識を変えた「あの経験」とは、何のことですか。

問2

気象庁は 2016 年、山梨県などの大雪警報と注意報の発表基準を、どのように見直したのでしょうか。

問3

災害被害を抑えるには「Ⓐ助」「Ⓑ助」「Ⓒ助」が大切と言われています。Ⓐ～Ⓒに入る漢字は何ですか。

Ⓐ「　　助」　　Ⓑ「　　助」　　Ⓒ「　　助」

問4

あなたは、地震や台風などの災害を想定し、日ごろからどんな準備をしていますか。書いてください。

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します
Copyright © 2022 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.